

## 鷹取山の周辺地域に残る伝説・歴史



### 不老不死の霊薬を求め渡来した徐福伝説

相模原市旧藤野町関野(せきの)・小測(おぶち)地区には次のような徐福(じょふく)伝説が残っている。

秦(しん)の始皇帝の命を受けた徐福が不老不死の霊薬を求め、日本に渡来した。出発するとき始皇帝から尊像を与えられた。

結局、霊薬は見つかりません。徐福は帰国することになった。

徐福は、始皇帝の尊像を鷹取山(たかとりやま)の中腹にある大岩の下に納めて当地を去っていったと言われている。

その後、尊像は「大明神」と唱えて祀られ、慶長年間(1596~1614)に村里に移された。

江戸幕府が神社仏閣の調査を行った際に、その由来を村人が申し立てたため、「唐土」の二字を加え「唐土大明神」(とうどだいみょうじん)となった。

さらに明治6(1873)年12月唐土大明神に加え、大年礼(おおむれ)神社と八坂神社を合併し、「三柱神社」(みはしらじんじゃ)と改称された。

### とうどだいみょうじん はた 唐土大明神と秦氏

『ふじの文化財探訪』(藤野町文化財保護委員会編1997.3)に、唐土大明神は秦氏の氏神だとする記述がある。

応神天皇の時代、始皇帝の子孫と称する弓月君(ゆづきのきみ)が百濟(くだら)を経て渡来し、仁徳天皇の時代に弓月君の子・普洞王(ふとうおう)が「秦(はた)」の姓を賜った。

秦一族は諸国に別れて住み、蚕を養い機を織り産業を興されたと伝えられている。旧藤野町エリアに来た秦氏が、唐土大明神の氏子と言われている。現在でも秦、畑野(はたの)などの姓がこの地に残っている。

### 藤野神社

享和3年(1803年)、藤野地区内の八坂神社、金毘羅神社、秋葉神社を合祀。その後明治5年(1872年)に、熊野神社、小一領神社、山梨神社も合併して、「藤野神社」と称された。藤野地区から沢井地区に通じるトンネル(沢井隧道)の真上にある。

### のろしだい かねつきどう 鷹取山烽火台・鐘撞堂跡

永禄・天正年間(1558~1591年)甲州武田氏支配の時、武田氏が相州北条氏に備えて築いた烽火台の一つ。

北條の様子を烽火(のろし)や大鐘で、陣馬山~鷹取山~鶴島御前山の流れで合図した。

この地域は当時の甲州・相州国境で、武田氏と北条氏それぞれが烽火台を幾重にも築いていた。

永禄・天正年間に武田氏がこの地を領した際に、小山田左兵衛尉信茂に命じて警鐘を鳴らす鐘撞堂も築かせたという。

### MAP 2 3

## JR藤野駅から歩ける! 藤野神社とトンネルの上を越える癒しの小径

### 藤野神社 (藤野駅から往復30分)

- ① 駅改札を出てすぐ左へ。
- ② 左折して踏切を渡る。
- ③ すぐ右折(直進して⑤を通る道もある)。  
※長いトンネル(沢井隧道)まで行くと、行きすぎ。
- ④ 短いトンネルの下をくぐる。
- ⑤ トンネルを抜けすぐ右折。
- ⑥ 階段を登るとお地蔵さまの広場。  
途中、左側に巻き道あり。
- ⑦ 鳥居を過ぎたあと、階段を登ると藤野神社に至る。



**癒しの小径** (藤野駅から往復40分)  
電車の待ち時間に & ハイキングにおすすめ♪  
⑦までは同じ。藤野神社へ登らず右側の山道へ入ると、癒しの小径。約10分の山道を歩いたあと、引き返すかトンネルの中を通って藤野駅へ帰ってくるかは、あなたの感性で♪

鷹取山は神奈川県最北端に位置する相模原市緑区の藤野エリアにあります。藤野エリアは文化・芸術による町おこしで知られています。また相模川の水源地域で、豊かな自然が残っており、里山の豊かな自然と人のふれあいに魅せられ、休日には多くのハイカーや登山客が訪れています。JR中央線で高尾駅から山梨方面へ2駅(約14分)と都心から近く、日帰りできる里山として話題になっています。

鷹取山へは、JR藤野駅からも歩いていくことができます。その途中にある、「藤野神社・お地蔵さまの広場」や、途中の分かれ道から歩ける「癒しの小径」も手軽に歩けるおすすめコースです。



問い合わせ先:「藤野観光案内所・ふじのね」TEL: 042-687-5581まで

協力:藤野山岳会

発行:藤野観光協会 発行日:2019年6月

都心からこんな近いところに!!

癒しの里山・藤野



JR藤野駅から歩ける! MAP 1

## 鷹取山 岩戸山 小淵山

(藤野15名山: 472.4 M) ●中級登山2コース



### MAP 2

## 藤野神社 お地蔵さまの広場

初級コース ●藤野駅から往復30分

### MAP 3

## トンネルの上を越える 癒しの小径

初級コース ●藤野駅から往復40分

